
平成24年度 中間決算の概要(9月期)

地方公共団体金融機構

平成24年度中間決算(9月期)のポイント

◆ 経常利益は1,100億円で、前年同期比88億円減。
中間純利益は107億円で、前年同期比4億円減。

◆ 資産総額は貸付金等23兆8,488億円で、前年度比5,081億円増。
負債総額は債券等23兆7,441億円で、前年度比4,971億円増。
純資産総額は出資金等1,046億円で、前年度比109億円増。

◆ 地方公共団体健全化基金は9,192億円で、前年度比5億円減。
金利変動準備金は1兆1,000億円で、前年度比2,200億円増。
公庫債権金利変動準備金は2兆6,727億円で、前年度比4,648億円減。

◆ 会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◆ 平成24年度上半期の**経常利益は1,100億円**で、平成23年度上半期より88億円減少。
- ◆ 経常費用が債券利息の減少等により37億円減少した一方、経常収益が貸付金利の減少等により126億円減少したことが要因。
- ◆ 公庫債権金利変動準備金繰入額(特別損失)が90億円減少したこと等もあり、**中間純利益は107億円**で、平成23年度上半期より4億円減少。

【平成23年度中間決算】		【平成24年度中間決算】		(増減)
経常収益	2,593億円	経常収益	2,466億円	(▲126億円)
貸付金利息	2,580億円	貸付金利息	2,448億円	(▲132億円)
余資運用益	3億円	余資運用益	3億円	(▲0億円)
その他の	8億円	その他の	15億円	(6億円)
経常費用	1,404億円	経常費用	1,366億円	(▲37億円)
債券利息	1,365億円	債券利息	1,320億円	(▲44億円)
その他の	39億円	その他の	46億円	(7億円)
経常利益	1,188億円	経常利益	1,100億円	(▲88億円)
特別利益	2,264億円	特別利益	5,758億円	(3,493億円)
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円	公庫債権金利変動準備金取崩額	5,700億円	(3,500億円)
利差補てん積立金取崩額	64億円	利差補てん積立金取崩額	58億円	(▲6億円)
特別損失	3,341億円	特別損失	6,751億円	(3,409億円)
金利変動準備金繰入額	2,200億円	金利変動準備金繰入額	2,200億円	(-)
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,141億円	公庫債権金利変動準備金繰入額	1,051億円	(▲90億円)
国庫納付金	一億円	国庫納付金	3,500億円	(皆増)
中間純利益	111億円	中間純利益	107億円	(▲4億円)

経常利益は
88億円減少



中間純利益は
4億円減少



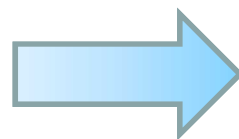
利益の状況 [一般勘定]

- ◆ 平成24年度上半期の一般勘定における**経常利益及び中間純利益は101億円**で、平成23年度上半期より24億円増加。
- ◆ 貸付金利息は106億円増加。一方、債券利息は72億円の増加に止まり、33億円の増益要因となった。
- ◆ 基金受入額(経常収益)が5億円増加したが、基金関連の勘定間取引を含めた基金関係全般では、5億円の減益要因が生じた。
- ◆ このほか、スワップ関連で1億円の減益要因が生じた。

【平成23年度中間決算】

経常収益	397億円
貸付金利息	324億円
余資運用益	3億円
金利スワップ受入利息	6億円
健全化基金受入額	0億円
その他※1	62億円
経常費用	320億円
債券利息	214億円
金利スワップ支払利息	2億円
その他業務費用	12億円
営業経費	11億円
その他※2	79億円
経常利益	76億円
特別利益	2,200億円
管理勘定繰入金	2,200億円
特別損失	2,200億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
中間純利益	76億円

経常利益は
24億円増加



中間純利益は
24億円増加

【平成24年度中間決算】

経常収益	489億円	(91億円)
貸付金利息	430億円	(106億円)
余資運用益	3億円	(▲0億円)
金利スワップ受入利息	3億円	(▲2億円)
健全化基金受入額	5億円	(5億円)
その他※1	45億円	(▲17億円)
経常費用	387億円	(66億円)
債券利息	286億円	(72億円)
金利スワップ支払利息	1億円	(▲1億円)
その他業務費用	16億円	(3億円)
営業経費	12億円	(1億円)
その他※2	70億円	(▲8億円)
経常利益	101億円	(24億円)
特別利益	2,200億円	(-)
管理勘定繰入金	2,200億円	(-)
特別損失	2,200億円	(-)
金利変動準備金繰入額	2,200億円	(-)
中間純利益	101億円	(24億円)

※1 うち、健全化基金受取利息について、H23中間決算は57億円、H24中間決算は37億円。
 ※2 うち、健全化基金管理勘定繰出金について、H23中間決算は77億円、H24中間決算は68億円。

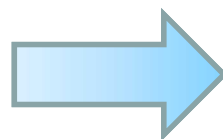
利益の状況 [管理勘定]

- ◆ 平成24年度上半期の**経常利益は998億円**で、平成23年度上半期より113億円減少。
- ◆ 債券利息は116億円減少。一方、貸付金利息は238億円の減少となり、121億円の減益要因となった。
- ◆ 基金関係では、基金関連の勘定間取引により10億円の増益要因となった。
- ◆ 利差補てん積立金取崩額(特別利益)が6億円の減少となり、同額の減益要因となった。
- ◆ 準備金関係では、公庫債権金利変動準備金繰入額(特別損失)が90億円の減少となり、同額の増益要因となった。
- ◆ **中間純利益は5億円**で、平成23年度上半期より29億円減少。

【平成23年度中間決算】

経常収益	2,336億円
貸付金利息	2,256億円
その他の費用 ※1	80億円
経常費用	1,224億円
債券利息	1,150億円
その他の ※2	74億円
経常利益	1,112億円
特別利益	2,264億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円
利差補てん積立金取崩額	64億円
特別損失	3,341億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,141億円
一般勘定繰出金	2,200億円
国庫納付金	－億円
中間純利益	35億円

経常利益は
113億円減少



中間純利益は
29億円減少

【平成24年度中間決算】

経常収益	2,089億円	(▲247億円)
貸付金利息	2,017億円	(▲238億円)
その他の費用 ※1	71億円	(▲8億円)
経常費用	1,090億円	(▲134億円)
債券利息	1,033億円	(▲116億円)
その他の ※2	56億円	(▲17億円)
経常利益	998億円	(▲113億円)
特別利益	5,758億円	(3,493億円)
公庫債権金利変動準備金取崩額	5,700億円	(3,500億円)
利差補てん積立金取崩額	58億円	(▲6億円)
特別損失	6,751億円	(3,409億円)
公庫債権金利変動準備金繰入額	1,051億円	(▲90億円)
一般勘定繰出金	2,200億円	(－)
国庫納付金	3,500億円	(皆増)
中間純利益	5億円	(▲29億円)

(増減)

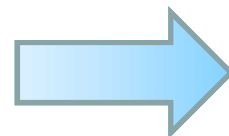
※1 うち、健全化基金一般勘定繰入金について、H23中間決算は77億円、H24中間決算は68億円。
 ※2 うち、健全化基金支払利息について、H23中間決算は57億円、H24中間決算は37億円。

資産の状況

- ◆ 平成24年度9月末現在の**資産総額は23兆8,488億円**で、平成23年度3月末現在より5,081億円増加。
- ◆ 貸付金の9月の定期回収等により**有価証券・現金預け金の合計額が5,116億円増加**したこと等が要因。

【平成24年3月31日現在】

貸付金	22兆3,874億円
有価証券	7,629億円
現金預け金	1,722億円
その他資産	148億円
有形固定資産	25億円
無形固定資産	6億円
合計 23兆3,407億円	



資産総額は
5,081億円増加

【平成24年9月30日現在】

貸付金	22兆3,852億円
有価証券	8,719億円
現金預け金	5,749億円
その他資産	136億円
有形固定資産	25億円
無形固定資産	5億円
合計 23兆8,488億円	

(増減)

(▲22億円)

(1,089億円)

(4,027億円)

(▲12億円)

(▲0億円)

(▲0億円)

(5,081億円)

※ 有価証券・現金預け金の合計 9,352億円

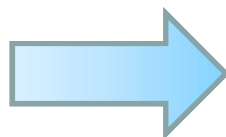
※ 有価証券・現金預け金の合計 1兆4,468億円

負債の状況

- ◆ 平成24年度9月末現在の**負債総額は23兆7,441億円**で、平成23年度3月末現在より4,971億円増加。
- ◆ 負債の大半を占める債券について、当期発行額が償還額を上回ったこと等により7,503億円の増加となったこと等が要因。
- ◆ 金利変動準備金は2,200億円増加。一方、公庫債権金利変動準備金は983億円の借換益を積み立てたものの、2,200億円の年次繰入及び3,500億円の国庫納付により4,648億円減少。

【平成24年3月31日現在】

債 券	18兆1,766億円
借 入 金	300億円
地方公共団体 健全化基金	9,198億円
金利変動準備金	8,800億円
公庫債権金利変動 準備金	3兆1,375億円
利差補てん積立金	872億円
そ の 他	155億円
合計	23兆2,470億円



負債総額は
4,971億円増加

【平成24年9月30日現在】

債 券	18兆9,270億円	(7,503億円)
借 入 金	300億円	(-)
地方公共団体 健全化基金	9,192億円	(▲5億円)
金利変動準備金	1兆1,000億円	(2,200億円)
公庫債権金利変動 準備金	2兆6,727億円	(▲4,648億円)
利差補てん積立金	814億円	(▲58億円)
そ の 他	137億円	(▲18億円)
合計	23兆7,441億円	(4,971億円)

純資産の状況

- ◆ 平成24年度9月末現在の**純資産総額は1,046億円**で、平成23年度3月末現在より109億円増加。
- ◆ 平成24年度上半期における一般勘定の間純利益101億円、管理勘定の間純利益5億円を各々の中間未処分利益として計上したほか、金利スワップ取引に係る評価益(期中解約分3億円、現存スワップ時価評価分▲0.8億円)等である繰延ヘッジ損益が2億円増加したことが要因。

【平成24年3月31日現在】

地方公共団体出資金	166億円
一般勘定積立金	293億円
管理勘定利益積立金	536億円
繰延ヘッジ損益	▲59億円
{ うち金利スワップ期中解約分 8億円 現存スワップ時価評価分 2億円 }	

合計 **936億円**



【平成24年9月30日現在】

地方公共団体出資金	166億円	(一)
一般勘定積立金	293億円	(一)
一般勘定中間未処分利益	101億円	(皆増)
管理勘定利益積立金	536億円	(一)
管理勘定中間未処分利益	5億円	(皆増)
繰延ヘッジ損益	▲57億円	(2億円)
{ うち金利スワップ期中解約分 3億円 現存スワップ時価評価分 ▲0.8億円 }		

合計 **1,046億円**

(増減)

(109億円)

純資産総額は
109億円増加

(参考)平成24年度9月期決算における主要勘定の状況 (単位:億円)

【貸付金】

前 期 末 高 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期 末 残 高 ①+②-③
223,874	8,158	8,180	223,852

【債券】

前 期 末 高 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期 末 残 高 ①+②-③
181,766	13,593	6,090	189,270

【地方公共団体健全化基金】

前 期 末 高 ①	納付金等 ②	基 運 用 益 ③	利下げ補てん 所 要 額 ④	期 末 残 高 ①+②+③-④
9,198	—	85	91	9,192

【利差補てん積立金】

前 期 末 高 ①	取 崩 額 ②	期 末 残 高 ①-②
872	58	814

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前 期 末 残 高 ①	年 次 繰 入 ②	国 庫 納 付 ③	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ④	公 営 企 業 債 券 借 換 益 ⑤	期 末 残 高 ①+②+③+④+⑤
金利変動準備金	8,800	2,200	—	—	—	11,000
公庫債権金利変動準備金	31,375	▲2,200	▲3,500	68	983	26,727